



建交労

2022年12月5日 No7
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2022年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

10月～11月秋の組合員拡大月間 全国で18組織86名の仲間を迎える

秋の組合員拡大月間(10月～11月末)は、全国で18組織86名の仲間を迎えることが出来ました。各地の奮闘に心から敬意を表します。第24回定期大会以降は組織内拡大48組織、162名となっています。また、秋の月間に合わせて各県本部・広域支部では「13組織」が宣伝物等の作成費用の補助を申請し、「ダンプ、トラック、労職」など業種分野の拡大に向けたとりくみが展開されました。23年春闘推進と各職場の要求実現に向けて、引き続き組織拡大で奮闘されることを呼びかけます。

2022年度9月～ 組織拡大数		9月	10月	11月	計
新結成	組織数	0	0	0	0
	拡大人数	0	0	0	0
組織内	全体組織数	30	22	14	66
	組織数(重複除く)	30	12	6	48
	拡大人数	76	43	43	162
組合員拡大合計人数		76	43	43	162

福岡県本部 2023年春闘討論集会 要求アンケートの集約目標1500名を確認

福岡県本部は、12月4日に福岡県本部2023年春闘討論集会を、柚須文化センターで29名の参加で開催しました。集会は、第17回県本部組織拡大幹部養成学校と位置付け、角田中央執行委員長の記念講演と、緒方県本部書記長の県本部春闘方針の提起を学習して、組織拡大に打って出る2023年春闘を取り組む、組織建設推進委員の意思統一の場となりました。



討論では、「2024年問題待ったなしのたたかいを強化する、トラック統一宣伝を継続し労働相談で分会を結成」(福岡協議会)「春闘前段の取り組みとして、大幅賃上げの環境づくり、コロナ危険手当の支給などの環境局・道路下水道局交渉を行った」(福岡支部)「児童福祉法第7条への位置付けの取り組み強化、処遇改善事業の活用展開強化」(学童保育支部)「雇用福祉事業団で引きこもり・生活貧困者の就労前進」(大牟田支部)「全国女性部大会の報告、ジェンダー平等の取り組み全県で広げていきたい」(女性部)等の報告・決意表明がありました。「春闘アンケート1,500集約など県本部の全員参加の6つの統一行動」「2月15日全職場で要求書提出」「1,000名県本部の確立に向けた拡大行動」などを確認し、県本部をもっと大きくしようと、決意高まる春闘討論集会になりました。